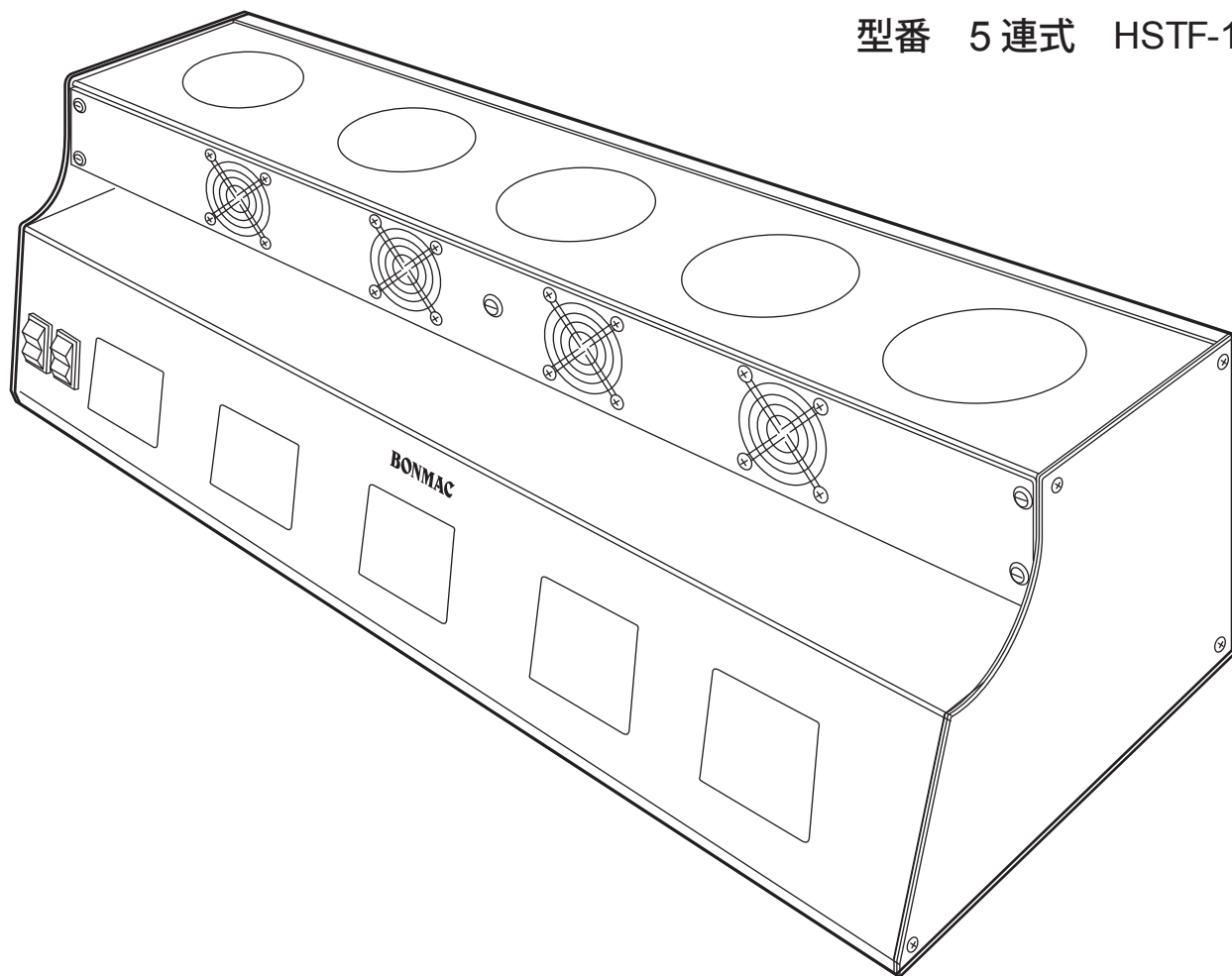


# BONMAC

## 光サイフォンテーブルフラット 取扱説明書

型番 5連式 HSTF-1051



### 目次

安全上の注意事項	P1 ~ 2
各部の名称	P3 ~ 4
操作方法	P5 ~ 10
コーヒーを抽出する	P5 ~ 7
抽出時間の設定	P8
抽出時の出力設定	P9
保温時の出力設定	P10
お手入れ	P11 ~ 12
各部のクリーニング方法	P11
ハロゲンヒーターの交換	P12
故障かな?と思ったら	P13
仕様	P14
製品保証書	本誌裏面

このたびは、光サイフォンテーブルフラットを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解して頂いた上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せる所に、保管しておいてください。

# 安全上の注意事項

- ご使用前に、この「安全上の注意事項」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。



**警告**

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容



**注意**

誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

## 絵表示の例



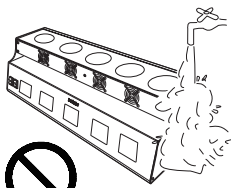
このような絵表示は、禁止行為であることを告げるものです。



このような絵表示は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



**警告**

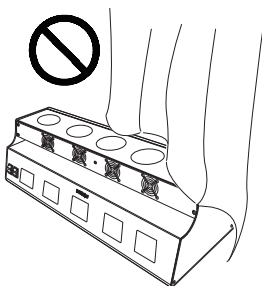


水場使用禁止

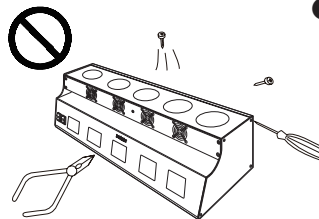
- 本体に直接水をかけない。  
感電・故障の原因になります。



- 周辺温度が 40℃以上になる所で使用しない。  
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。



- 機器の上や周りには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）のものは置かない。  
火災の原因になります。



- 分解・修理・改造は絶対しない。  
感電・火災・けがの原因となります。  
故障と思われたときはお買い求め先にご連絡ください。



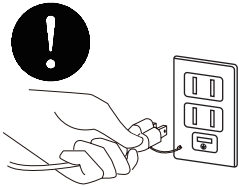
- 電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてから使う。

火災の原因になります。



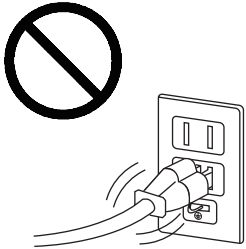
- アース線を確実に取り付ける。  
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

## ⚠️ 注意



- 電源コードを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして、発火することがあります。



- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電やショートして、発火することがあります。



- スイッチの操作は必ず、指先で行う。

故障の原因になります。



- たこ足配線禁止。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。

感電やショートして、発火することがあります。



- ハロゲンヒーターを直接見ない。

目を痛めることがあります。



触手禁止

- 使用中や使用直後はガラス・ヒーターユニットには触れない。

やけどをするおそれがあります。



- 交流 100V以外では使用しない。

感電・火災の原因となります。



- 電源は必ず適正配線された 100V15A 以上の別々のコンセントから取る。ブレーカーが作動する等の原因になります。

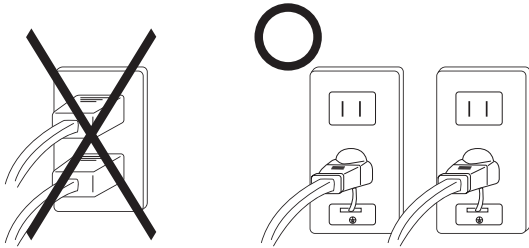


- Y型取付機器の電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくは、その代理店又は同等の有資格者によって行わなければならない。

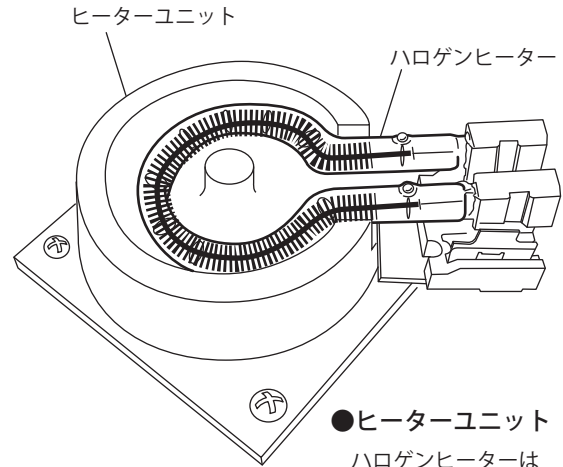
# 各部の名称

## 本体

### ⚠ プラグのさし方注意



5連式 HSTF-1051は、電源プラグが2つあります。1つのコンセントキャップに2つささず、必ず別々のコンセントキャップにさしてご使用ください。電気容量オーバーでブレーカーが落ちて使用できなくなります。



●ヒーターユニット  
ハロゲンヒーターは取り外して交換できます。(交換の方法をP12に記載)

ガラス板

電源スイッチ

冷却ファン

ヒーターユニット内の熱源を冷やします。

※ほこりが溜まりますので、定期的にほこりを取り払ってください。(お手入れの方法はP11に記載)

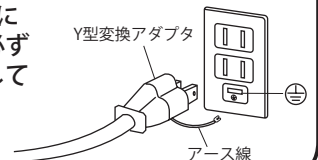
操作パネル (詳細は P4に記載)



ご注意

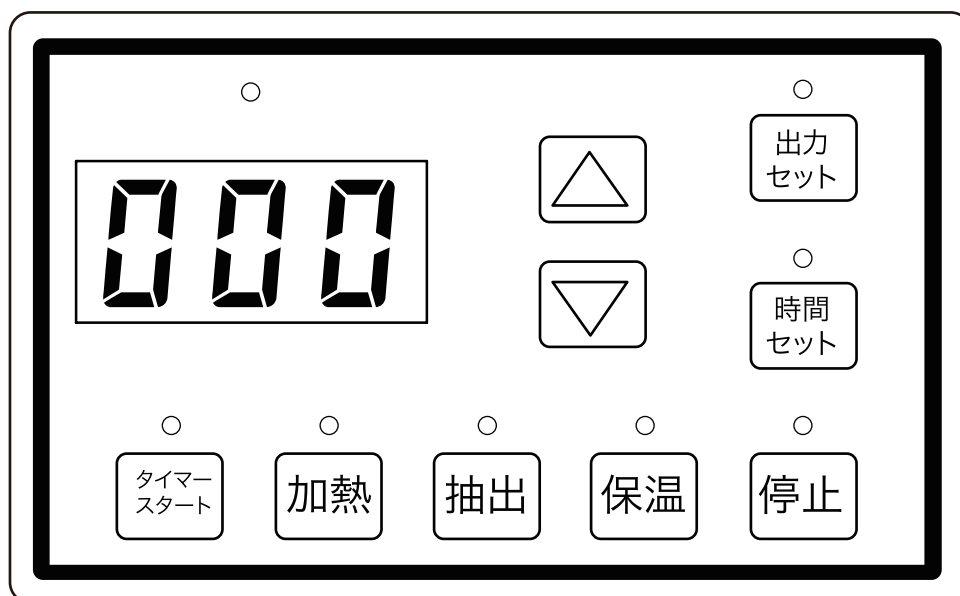
この機器の電源コードをY型変換アダプタに変更した場合、必ずアース線を接続してご使用ください。

Y型変換アダプタ



アース線

## 操作パネル



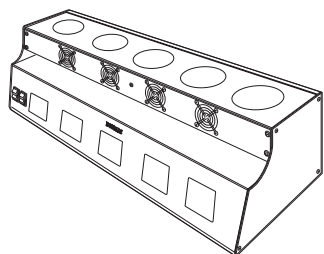
タイマー スタート	<b>タイマースタートボタン</b>	・ボタンを押すとタイマーのカウントが開始されます。
加熱	<b>加熱ボタン</b>	・ボタンを押すと出力 100% で最大 8 分間作動します。
抽出	<b>抽出ボタン</b>	・抽出の際に使用します。出力、抽出時間を設定する場合にも使用します。
保温	<b>保温ボタン</b>	・保温する際に使用します。保温時の出力設定の時にも使用します。
停止	<b>停止ボタン</b>	・動作を停止する場合に使用します。
時間 セット	<b>時間セットボタン</b>	・抽出時間を設定する場合に使用します。
出力 セット	<b>出力セットボタン</b>	・抽出、保温の出力を変更したい場合に使用します。
▲	<b>数値変更ボタン</b>	・設定を変更する場合に数値を上げ下げするときに使用します。
▼		

# 操作方法

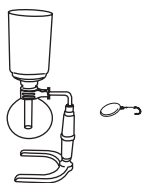
## コーヒーを抽出する 1

- コーヒーの抽出を行う際には、あらかじめ「コーヒーを抽出する」の項目をよく読み、作業工程を確かめてから行ってください。

### 準備するもの



光サイフォンテーブル



サイフォンセット



竹べら

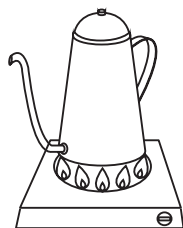


お湯



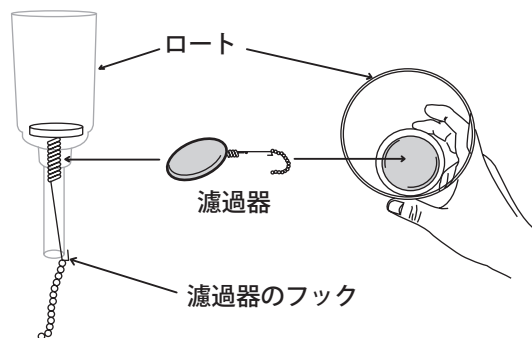
コーヒー粉

### 抽出を始める前に



- コーヒーに使用する水を沸騰させておいてください。

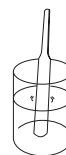
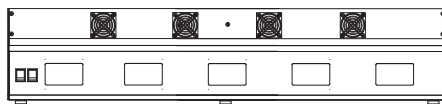
光サイフォンテーブルで沸かすこともできますが、沸くまで時間がかかるので、ガスコンロなどで沸かしておいてください。



- 濾過器をロートにセットしてください。

濾過器のフックをロートの先に引っ掛けてください。濾過器がロートの中央にくるように、竹べらで調節してください。

### 抽出前のセッティング

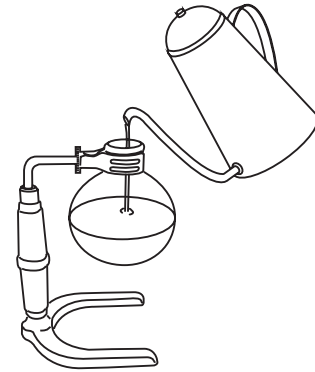


- 濾過器をロートにセットし、フラスコと別々にしておいてください。
- 竹べらは水を張ったコップに浸けておいてください。
- お湯は沸騰した状態のまま保温しておいてください。

## コーヒーを抽出する 2

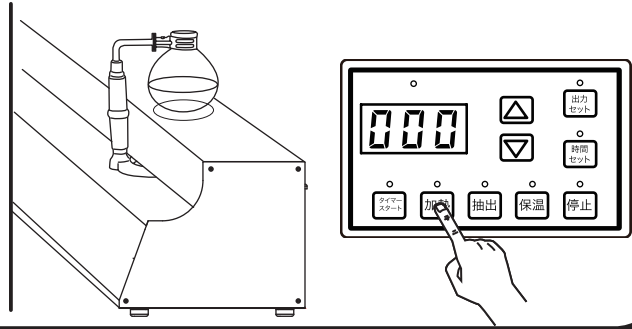
### 1 お湯をフラスコ内に入れてください。

一人分 160cc (160cc は目安の数値です)  
出来上がり量とコーヒー粉にしみ込む水量分を  
入れておいてください。



### 2 光サイフォンテーブルにフラスコを置き、加熱ボタンを押して下さい。

※フラスコはお湯を入れてから加熱して下さい。

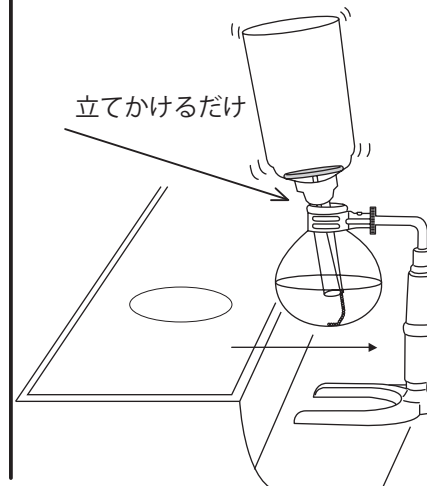


### 3 一旦、フラスコを灯体から離して、フラスコにロートを立てかけてください。

#### ⚠ 突沸に注意

フラスコ内の熱湯にロートを差し込む際、突沸するおそれがあります。ロートはゆっくり差し込んでください。

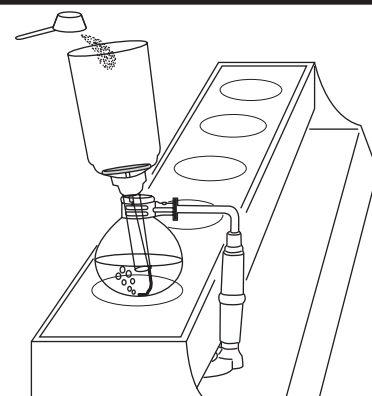
まだ、フラスコにロートを差し込まないで、立てかけた状態にしておいてください。  
立てかけたらフラスコを熱源に戻してください。



### 4 お湯が沸いたら、ロートの中にコーヒー粉を入れてください。

フラスコ内にポコポコと水泡が出始めたらお湯は沸いています。

一人分中挽き 15g (15g は目安の数値です)。



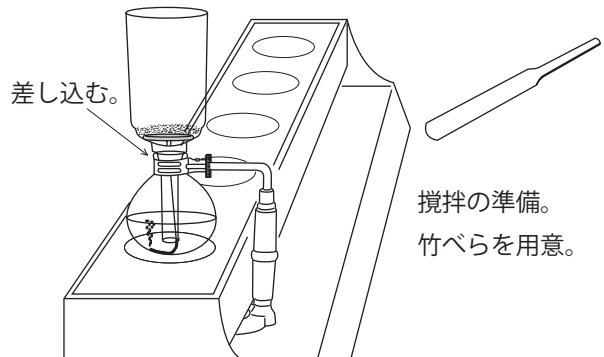


# 操作方法

## コーヒーを抽出する 3

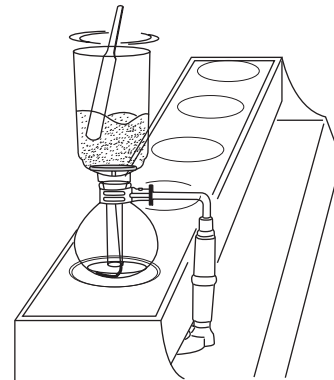
- 5** コーヒー粉を入れたら、ロートをフラスコに軽く差し込んでください。

フラスコを差し込むと、お湯が上がってきますので竹べらを用意して攪拌の準備をしてください。



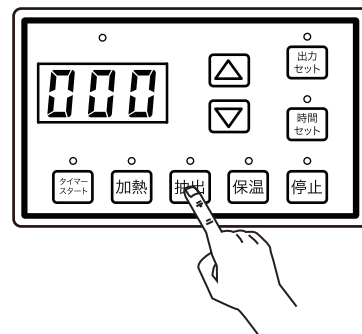
- 6** お湯が上がりきる少し前に、お湯とコーヒー粉を攪拌してください。

※お湯とコーヒー粉がよくなじむように攪拌してください。



- 7** 攪拌後、すぐに抽出ボタンを押してください。

抽出ボタンを押すと操作パネルのモニターが秒数のカウントを始めます。

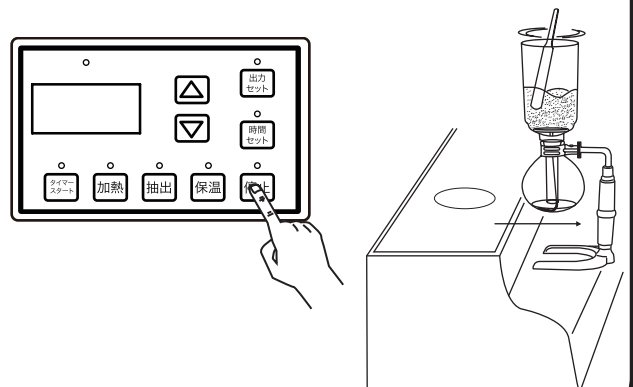


- 8** 抽出ボタンを押してから 25 秒経ったら、「停止ボタン」を押して、灯体からフラスコを離して攪拌してください。

操作パネルのモニターが 25 までカウントしたら停止ボタンを押してください。

(25 秒は目安の数値です。)

※抽出時間を設定することで自動的に電球を切ることもできます。(P8 抽出時間の設定を参照)



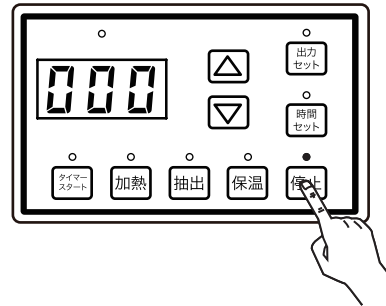


## 抽出時間の設定

- 抽出時間の設定をすることで停止ボタンを押さなくても自動的に抽出を終了することができます。初期設定は 100 秒になっています。

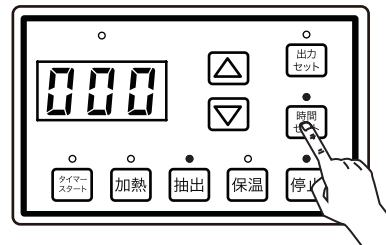
### 1 停止ボタンを押してください。

停止ボタンの上の LED が点灯していることを確認してください。



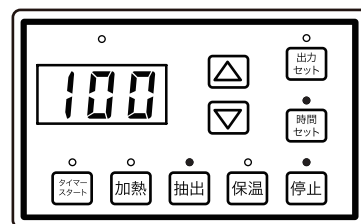
### 2 時間セットボタンを押してください。

右図のように LED が点灯していることを確認してください。



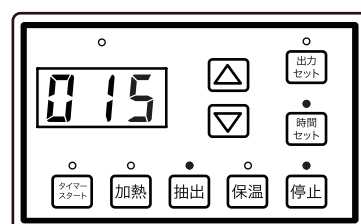
### 3 を使って、設定したい秒数を選択してください。

1～999 秒の範囲で選択できます。



初期設定は 100 秒になっております。

### 4 設定したい秒数に合わせて停止ボタンを押したら設定終了。



上図で停止ボタンを押すと抽出時間が 15 秒に設定できます。

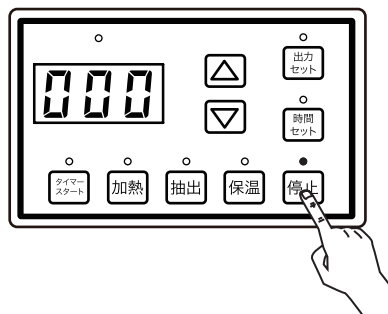
# 操作方法

## 抽出時の出力設定

- 抽出ボタンを押したときの出力を設定できます。初期設定は70%になっています。

### 1 停止ボタンを押してください。

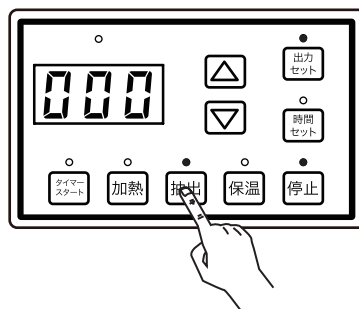
停止ボタンの上のLEDが点灯していることを確認してください。



### 2 出力セットボタンを押してください。

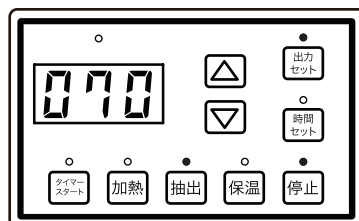
### 3 抽出ボタンを押してください。

右図のようにLEDが点灯しているか確認してください。



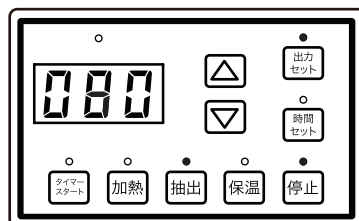
### 4 を使って、設定したい数値を選択してください。

抽出ボタンでは15~99%の範囲で選択できます。出力が低いとコーヒーがフラスコに落ちてしまいますので70~80%の範囲での設定をおすすめします。



初期設定では、70%になっております。

### 5 設定したい数値に合わせて停止ボタンを押したら設定終了。



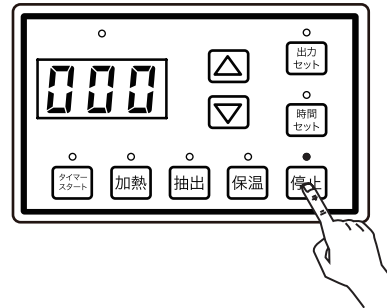
上図で停止ボタンを押すと抽出時の出力が80%で設定できます。

## 保温時の出力設定

- 保温ボタンを押したときの出力を設定できます。初期設定は 50 % になっています。

### 1 停止ボタンを押してください。

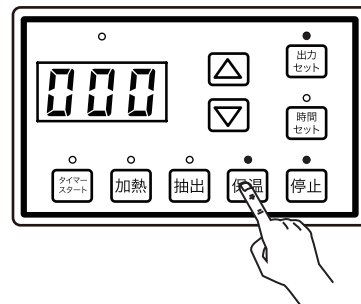
停止ボタンの上の LED が点灯していることを確認してください。



### 2 出力セットボタンを押してください。

### 3 保温ボタンを押してください。

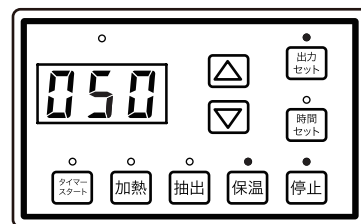
右図のように LED が点灯しているか確認してください。



### 4 を使って、設定したい数値を選択してください。

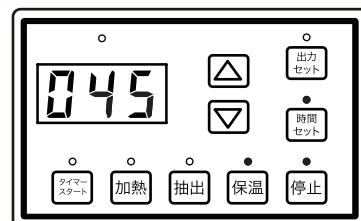
保温ボタンでは 15 ~ 60 % の範囲で選択できます。

※数字が高くなると出力が高くなります。



初期設定は、50 % になっています。

### 5 設定したい数値に合わせて停止ボタンを押したら設定終了。



上図で停止ボタンを押すと保温時の出力が 45 % で設定できます。

# お手入れ

## 各部のクリーニング方法

- クリーニングは必ず行ってください。
- クリーニングの際には必ず電源プラグをコンセントから抜いて、機器が冷えた状態で行ってください。（使用直後にクリーニングを行うと、やけどをするおそれがあります。）
- クリーニングの際にはけがに十分ご注意ください。

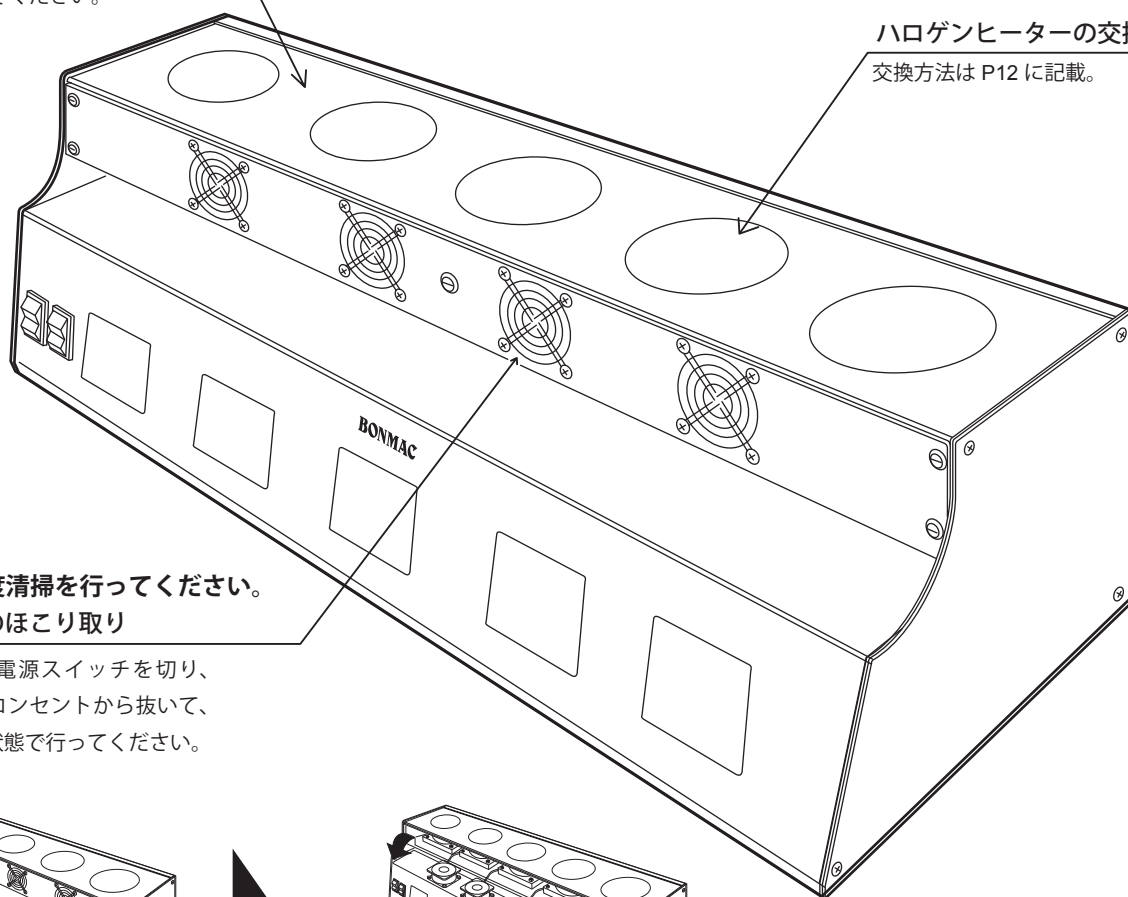
※毎日清掃を行ってください。

### ガラス板の拭き掃除

ガラス板と外装側面についた、ほこりやコーヒー汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

### ハロゲンヒーターの交換

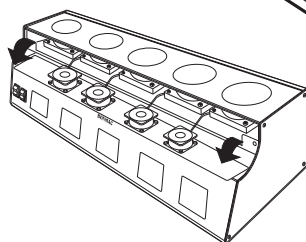
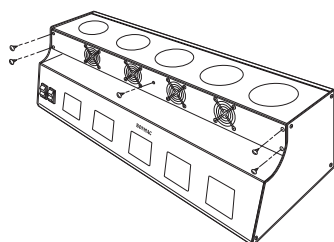
交換方法は P12 に記載。



※一週間に1度清掃を行ってください。

### 冷却ファンのほこり取り

清掃前は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、機器が冷えた状態で行ってください。



本体前面の冷却ファンがついている板のネジ5本を反時計方向に回し外してください。

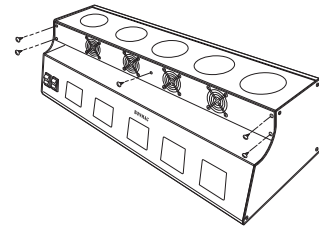
冷却ファンが取り付けられているカバーを手前に倒し、そのまま本体上に置いてください。ファン部の汚れを綿棒などで拭き取り、元通りネジ4本で固定してください。

## ハロゲンヒーターの交換

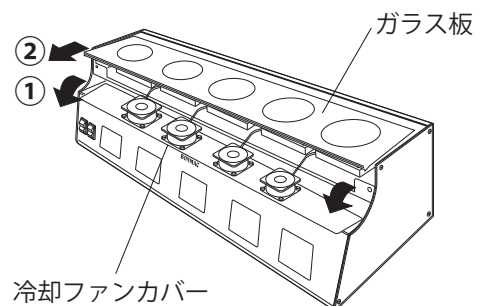
- ハロゲンヒーターの交換作業は、専門のサービスエンジニアによる交換を推奨します。
- お客様ご自身で交換される場合は、以下の事項をお守り頂き、十分に留意した上で作業を行ってください。

- !** 作業する前には必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、十分に時間を空けて本体が冷えた状態を確認してから行ってください。  
本体、ヒーターユニットが冷めていない状態で交換作業を行いますと火傷をする恐れがあります。
- !** ハロゲンヒーターを交換する際は必ず布製の手袋を装着して作業を行ってください。  
素手で作業を行いますと、誤って手を裂傷する恐れがあります。  
また、ハロゲンヒーターのガラス部を素手で触りますとヒーターの寿命が短くなる原因になります。

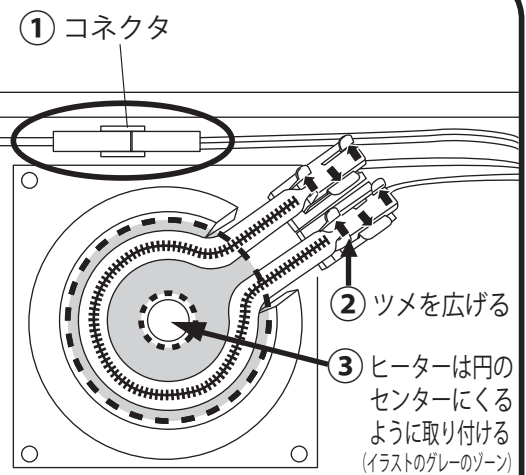
- 1** 本体前面の冷却ファンがついている外装カバーのネジ5本を反時計方向に回し外してください。



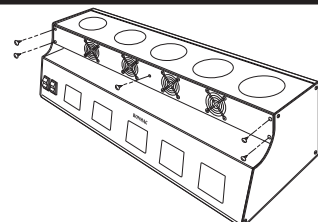
- 2** ①冷却ファンが取り付けられている外装カバーを手前に倒し、そのまま本体上に置いてください。  
②次にガラス板を手前にスライドさせて本体から外し、安全な場所に置いてください。



- 3** ①ヒーターが接続されているコネクタを外してください。※本体奥に入っています。  
②片方3ヶ所のツメを広げてヒーターを少し持ち上げた後に、もう片方も同様にツメを広げてヒーターを外してください。
- !** ヒーターは素手で触ると寿命が短くなります。
  - ③新しく用意したヒーターを取付けてコネクタを取付けてください。
  - !** ※コネクタと配線は本体奥下に入れてください。



- 4** 逆の手順でガラス板と外装カバーを取り付けてネジ5本を取付けてください。



# 故障かな？と思ったら

## 症状

## 原因と解決方法

電源が入らない

- 電源プラグが抜けている可能性があります。電源プラグがささっているか確認してください。
- 電源の容量が不足している可能性があります。電気工事店にご相談ください。

フラスコ内の水が温まらない

- ハロゲンヒーターが断線している可能性があります。販売店にご連絡ください。(P12 参考。)
- 電源基盤が故障している可能性があります。販売店にご連絡ください。
- パネル基盤が故障している可能性があります。販売店にご連絡ください。

抽出時にロート内のお湯がフラスコに落ちてしまう

- 抽出時の出力が弱い可能性があります。出力が 70 ~ 80 % になっているかご確認ください。出力が低かった場合、抽出時の出力設定 (P9 参照) で出力を 70 ~ 80 % に設定してください。

保温状態のコーヒーがぬるくなる

- 保温時の出力が弱い可能性があります。P10 の保温時の出力設定を参考に、出力を現在設定している数値より高くしてみてください。

本体が異常に熱い

- 冷却ファンが故障している可能性があります。販売店にご連絡ください。
- 冷却ファンが汚れている場合は、清掃を行ってください。(P11 参照)

よくブレーカーが落ちる

- 適正に配線工事がされていない可能性があります。電気工事店にご相談ください。
- 電気容量が不足している可能性があります。電気工事店にご相談ください。
- たこ足配線になっていないか確認してください。

コードが熱い

- 適正に配線工事がされていない可能性があります。電気工事店にご相談ください。

製品名	光サイフォンテーブルフラット
形式	HSTF-1051
定格電圧	AC100V
定格消費電力	2020W
熱源	ハロゲンヒーター
寸法	W1050×D263×H234.3mm
重量	約 20.4kg
電源コードの長さ	2.1m × 2本



# 製品保証書

型式	BONMAC 光サイフォンテーブルフラット 5連式 HSTF-1051	機番	保証期間
お客様様	お名前	様	お買上げ日より <b>1</b> カ年
	ご住所 〒		お買上げ日
	電話 ( )	—	* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 ( ) —			

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。  
ご販売店さまへ：\*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
  - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
  - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後7年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
  - \* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

**ラッキ-コ-ヒ-マシ-ン** 株式会社

本社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

東京本部

広域営業部 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa副成門ビル TEL(03)5400-3483 FAX(03)5400-5724

営業所

札幌営業所 〒004-0005 札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号 TEL(011)898-3636 FAX(011)897-1467  
東京営業所/東京ショールーム 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa副成門ビル TEL(03)5400-5720 FAX(03)5400-5723  
名古屋営業所/名古屋ショールーム 〒451-0046 名古屋市西区牛島町5番4号 TEL(052)587-7678 FAX(052)587-7677  
大阪営業所/大阪ショールーム 〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目5番7号 TEL(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660  
福岡営業所 〒813-0062 福岡市東区松島6丁目2-1 TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356  
福岡ショールーム 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356

20.07 RE